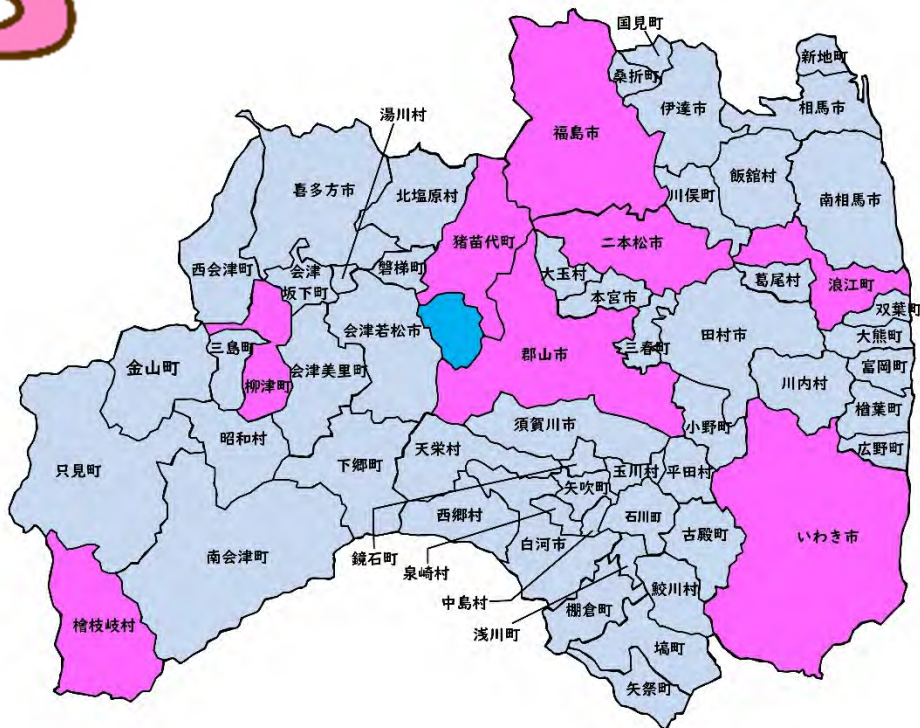


# 3

## でんとう ふるさとの伝統・文化と先人のはたらき



① あんばさい なみえ  
安波祭 (浪江町)



② ちょうちん にほんまつ  
提灯祭り (二本松市)



⑤ なのかどう やないづ  
七日堂はだか参り (柳津町)



③ てんきょうかく いなわしろ  
天鏡閣 (猪苗代町)



④ ひのえまたかぶき ひのえまた  
檜枝岐歌舞伎 (檜枝岐村)

(「うつくしま電子事典」より)

### のこ (1) 福島県に古くから残るもの

はなさんたちは、県内に古くから残るものについて「うつくしま電子事典」を見て気づいたことを話し合いました。



「県内には、こんなにたくさん古くから残るものがあるんだね。」



「福島県を三つに分けると、浜通りでは芸のうがさかんで、中通りでは大きなお祭りが有名で、会津地方では古い建物や伝統がたくさん残されているね。」



うつくしま  
電子事典

## はなさんたちが調べることにした古くから残るもの



しのぶさんざんあかつき  
「福島市の信夫三山 暁 まいりは、約 400 年前から続いている祭りだそうだよ。」



「そんなにも長い間、どのようにして受けつがれてきたのかな。」



「古くからのものを残そうと、地いきの人たちが協力しているのではないかな。」

はなさんたちは、(1)～(3)についてグループごとに一つ選んで調べることにしました。

### 学習問題

県内に残る古いものは、どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。

#### 【調べること】

- 古くから残るものの始まりやこれまでのできごと。
- だれがどのように受けついできたのか。
- 人々の願い。

#### 【調べ方】

- 図書室やインターネットを使って調べる。
- 役場や歴史資料館で働く人にインタビューをする。
- 手紙やメールで聞く。
- 見学に行く。

#### 【まとめ方】

- 調べたことをくらべながら学習問題についての考えをまとめる。



① のこ たてもの  
古くから残る建物



① あさかれき しはくぶつかん  
安積歴史博物館



② めいじ こうしゃ  
明治時代の校舎

調べる

きゅうふくしまけんじんじょう  
旧福島県尋常中学校  
は、どのようにして残さ  
れてきたのでしょうか。



こおりやま きゅうふくしまけんじんじょう  
郡山市にある旧福島県尋常中学校

はなさんたちのグループは、インターネットで、  
旧福島県尋常中学校（現在のあさかれき しはくぶつかん  
安積歴史博物館）につ  
いて調べました。ホームページの写真を見て考えた  
ことをもとに、博物館で はたら 働く人にメールで しつもん 質問す  
ることにしました。



めいじ じだい たてもの  
「明治時代から、建物の様子はあまり変わっ  
ていないように見えるね。」



りっぱ えいが えんげき  
「本当に立派だよね。映画や演劇のぶたいと  
して使われることもあるそうだよ。」



「だれが、どうしてこんなに立派な建物を建  
てたのかな。」



「こんなに長い間、建物が残されているとい  
うことは、だれかの ささき 支えがあったのかな。」



③ ふくげん かいだん  
復元された階段

④ 地震でひがいをうけた建物



⑤ 高校生の演劇公演



はしもと  
博物館長の橋本さんからのメール



この建物は、1889（明治22）年に当時の  
中学校の校舎として完成しました。1948

（昭和23）年～1973（昭和48）年までは県立安積高等  
学校の校舎として使用されました。

その後、国の重要文化財に指定され、1984（昭和59）  
年からは「安積歴史博物館」として公開しています。

古い木造の建物なので、年月とともに進んでいく劣化  
や自然災害（特に地震）からの補修をしながら、建物を  
守っています。東日本大震災の時、くずれ落ちた土か  
べの修復には現在のぎじゅつを使って回復しました。

文化財にはふれたり、近くで見たりできないものもあ  
りますが、この建物は直接見学できます。この建物を  
通して過去のことを学び、今のわたしたちの参考になる  
ものを感じていただき、それを未来に役立てることがで  
きる、そんな場所にしていきたいです。

はなさんたちは、調べたことやメールから分かっ  
たことを整理して、クラスの友だちに伝えるじゅん  
びをすることにしました。

年	主なできごと
1884 (明治17)	福島中学校として開校。
1886 (明治19)	福島尋常中学校と校名 改称。
1887 (明治20)	福島県尋常中学校と校 名改称。
1889 (明治22)	安積郡桑野町（現在地） に移転。
1901 (明治34)	県立安積中学校となる。
1948 (昭和23)	新学制により県立安積 高等学校となる。
1977 (昭和52)	文部省から国の重要 文化財に指定される。
1984 (昭和59)	安積歴史博物館として 公開される。

⑥ 旧福島県尋常中学校  
に関する年表

ぶんかざい  
文化財



我が国の長いれきしの中で  
生まれ、先祖によって今まで  
守り伝えられてきた古い建物  
や美術品、ぎじゅつ、なら  
わしなどのこと。その中には  
国、県、市などがほぞんして  
いくことを決めたものもあり  
ます。

## ② 古くから伝わる芸のう



① じゃんがら念仏踊りの様子 (いわき市提供)



② 子どもじゃんがらの練習風景 (いわき市提供)

### 調べる

じゃんがら念仏踊りは、どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。



### いわき市のじゃんがら念仏踊り

かんたさんたちのグループは、いわき市の「じゃんがら念仏踊り」についてのパンフレットを読んで考えたことをもとに、踊り手の人にインタビューすることにしました。

「約360年以上も前から伝わるいわき市の伝統的な年中行事なんだね。」

「じゃんがら念仏踊りは、太鼓などの楽器を持ちながらおどるみたいだね。」

「1992年に、いわき市の無形民俗文化財に指定されたみたいだよ。子どもたちもじゃんがらをおどっているね。」

「どのようにしておどりを受けついできたのかインタビューしてみよう。」

#### 年中行事

毎年、決まった時期に行われる行事のこと。

1月	正月
2月	ももの節句
3月	ひな祭り
5月	たんごの節句
7月	七夕
8月	お盆
9月	お月見
11月	七五三
12月	おおみそか

## ～ じゃんがら念仏踊りしょうかい ～

じゃんがら念仏踊りは、その年に亡くなった人をとむらうために行われる伝統行事の一つです。いわき市に伝えられたのは、江戸時代の初めごろといわれています。

いわき市内には 90 以上のじゃんがら念仏踊りの団体があ  
り、お盆の時期を中心に、地区ごとに家々をまわります。

1992 年には、市の無形民俗文化財に指定されました。最近  
は、わかい踊り手が少なくなり、じゃんがら念仏踊りを受け  
つぐ人がへってきています。それぞれの団体では、地いきを  
大切にし、地いきの行事に進んで参加することで、伝統を受  
けつぐことができるようにしています。



使われる楽器 (左:かね 右:太鼓)

### 踊り手の高木さんの話



その年に亡くなった方がいらっしゃるご  
家庭から踊りをたのまれて、お盆の時期に  
うかがっています。そのため、ご家族をなぐさめると  
いう意味でも、じゃんがら念仏踊りは大切な行事で  
す。わたしたちは、自分たちがじゃんがら念仏踊りの  
長いれきしと伝統を受けついでいるというほこりをも  
って取り組んでいます。そして、念仏踊りをお願い  
された全てのご家庭に、まごころをもって対応するこ  
とを心がけています。

念仏踊りを踊った後、ご家族の方に感謝していただ  
いた時に、特にやりがいを感じます。中には、なみだ  
を流しながら深々とお礼をされる方もいらっしゃい  
ます。

かんたさんたちは、調べたことやインタビュー  
ーから分かったことを整理して、クラスの友だ  
ちに伝えるじゅんびをすることにしました。

### ③ じゃんがら念仏踊りのパンフレット

年	主なできごと
江戸時代 (約 360 年 前)	じゃんがら念仏踊りが 始まったとされる。
1874 (明治7)	踊りの禁止令が出され る。
1896 (明治29)	禁止令が解かれ、踊り ができるようになる。
1992 (平成4)	いわき市の無形民俗文化 財に選ばれる。

### ④ じゃんがら念仏踊りに関する年表

#### 無形民俗文化財



それぞれの地いきで、  
長い間、伝えられてきた  
祭りやさまざまな行事の  
こと。

### ③ 昔からつづく祭り

#### つた まちに伝わる祭り

祭り調べをしたさくらさんたちのグループは、次に福島県立  
博物館はくぶつかんに行くことにしました。学芸員がくげいいんの方に祭りや年中行事につい  
て聞いてみようと思ったからです。

#### つかむ

福島市には、どのよ  
うな祭りが伝わってい  
るのか調べ、学習問題  
をつくりましょう。



#### おおさと 学芸員の大里さんの話



38 ページの写真は、福島県内で行われ  
ている祭りです。毎年、決まった時期に  
行われる行事を年中行事といいます。福島市で行われ  
る年中行事の中では、信夫三山しのぶさんざんあかつき 暁まირが有名です。  
いかなるこんなん困難をも乗り越ろうという、地いきの幸せ  
をいのるための祭りであるとともに、地いきのひとびと人々の  
手によって、何百年もの間受けつがれ、つづいてきたとい  
う説せつもあります。

#### 【見る・調べる】

##### はくぶつかん 博物館での調べ方

- 館内にある案内で  
調べたいことがてん  
じされているところ  
をさがす。
- てんじされている  
ところを見て、必要な  
ことはメモを取る。
- わからないことや  
ぎもんに思うことが  
あれば、博物館で働  
く方に質問する。



「信夫三山暁まირについて、くわしく教えて  
もらえたね。どんなことがわかったか、みんな  
でかくにんしてみようよ。」

さくらさんたちは、「信夫三山暁まირ」について、  
学芸員の方から教わったことを、メモを見ながらみん  
なでまとめてみました。

- ・ 信夫三山まいとし きゅうしょうがつ暁まいりは大昔から続く祭り、毎年、旧正月にあたる2月じょうじゆん上旬に行われる。
- ・ 日本一といわれる大わらじを信夫山の頂ちようじょう上にある羽黒はぐろ神社じんじゃ ほうのうに奉納する。
- ・ 日本一といわれる大わらじを奉納するということから、福島県を代表する祭りの一つとして知られている。



「祭りを行う人々がかわっても、大昔から今まで、祭りが続いてきたのはどうしてだろう。」



「長い間のこ残っている祭りなのだから、地いきの人たちが大切にしてきた理由がきっとあるはずだよ。」

## 学習問題

信夫三山暁まいりは、どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。



「日本一の大わらじを神社に奉納するには、どんな願ねがいがこめられているのかな。」



「これまでの長い間、祭りが続いてきたのは地いきの人たちが工夫をしたり、広める取り組みをしたりしてきたからではないかな。」

さくらさんたちは、学習問題について予想し、学習計画を立てました。

### 祭り



地いきには、その地いきの人々ひとびとが昔から受けついだ祭りがあります。祭りには、人々のさまざまな願ねがいがこめられていて、祭りを通して人々の絆きずな、結びつきむすも強くなります。

### しのぶさんざん 信夫三山 あかつき 暁まいり



毎年、旧正月にあたる2月10日から11日に、福島市中心部にある信夫山で行われる神事しんじのこと。約400年近くしんじのれきしがあるとされています。



## 調べる

おやま  
御山地区の人々は、  
どのようにして、信夫  
さんざんあかつき  
三山 暁 まいりを守っ  
ているのでしょうか。

## おやまさぎょうば 御山作業場で調べよう

さくらさんたちは、御山作業場へ行って信夫三山 暁  
さんざんあかつき  
まいりについて調べることにしました。作業場には、大  
ざいりょう  
わらじを作る材料や道具がたくさんありました。そこ  
で、祭りの中心として活動している御山敬神会の方に、  
おやまけいしんかい  
信夫三山暁まいりのれきしについて話を聞きました。

## にしぎか 御山敬神会の西坂さんの話

みんなで少しずつわらじを編んでいき  
ます。寒い季節に手作業で行うのでとて  
もたいへんです。



市民のみなさんの思いや願いを考えながら、活動を進  
めるようにしています。福島市で古くから行われていた  
大わらじ運びが県内中に知られるようになり、より多く  
のひとびとさんか  
の人々が参加できるようにするため、地元の人たちと信  
夫さんざんほうさんかい  
夫三山奉賛会が力を合わせてもり上げてきました。

また、福島わらじまつりでも大わらじをつくるようにな  
りました。信夫三山暁まいりのみりよくは、さらに広  
がり、他の地いきの人々との交流もふえてきています。

### おやまけいしんかい 御山敬神会



御山地区の人たちが  
中心となり活動する組  
織のこと。毎年、特設  
の作業場で大わらじを  
つくり、羽黒神社に奉  
納しています。

### しのぶさんざんほうさんかい 信夫三山奉賛会



福島市役所の商工  
業振興課内にある組織  
のこと。信夫三山 暁  
まいりをPRしたり、  
おまいりする人の安全  
対策などを支えんし  
たりしています。



「大わらじをつくるのは、たいへんそうだね。御山地区に住む人  
たちは、信夫三山暁まいりにどんな願いをこめているのかな。」



① 作業場でつくられる大わらじ

年	主なできごと
約400年前	はぐろじんじや あんち に おうさま 羽黒神社に安置されていた仁王様の足の大きさに合わせたわらじを奉納する。
1840ごろ (天保11)	しの ぐ やま やしろ 信夫山羽黒の社で、にぎわいが見られる。
1920ごろ (大正9)	福島市 おおざそう 大笹生地区の大わらじが奉納される。
1930ごろ (昭和5)	ロンドンの しゅうかんし 週刊誌で世界の変わった祭りとしてしょうかいされる。 とりかわ さくら 鳥川地区、佐倉地区の大わらじが奉納される。
1940ごろ (昭和15)	たいへいようせんそう 太平洋戦争中の物不足などにより、一時中だんされる。
2024 (令和6)	かんせんしやう 感染症を防ぐために中断していた大わらじの奉納が、さいかい 再開される。

② 信夫三山曉まいりに関する年表

(「福島市の文化財」より作成)



「信夫三山曉まいりは、2月のとても寒い時期に行われる年中行事みたいだよ。」



「長さが12メートルもある大わらじを手作業でつくるのは、とてもたいへんだらうね。」



「何人をつくっているのかな。この祭りは、人々の健康や家の安全を願って始まったらしいよ。」



「400年も続いているなんてすごいよ。祭りが中だんすることがあっても、つづいてきたのは地いきの人たちの強い思いがあったからだね。」



「祭りをわかひ人や他の地いきの人にも伝えていこうと努力しているところもすごいよね。」

さくらさんたちは、信夫三山曉まいりをつづけるために努力している人に、話を聞くことにしました。



長さ	約1.2m
はば	約1.4m
重さ	約2トン (約2,000kg)

③ 大わらじの大きさ



① 大わらじの奉納ルート (2020年)

**調べる**

さんか 参加している人々は、  
ひとびと 古くから伝わる祭りをど  
のようにして受けついで  
いるのでしょうか。

さんか **参加している人に話を聞こう**

さくらさんたちは、<sup>じっさい</sup>実際に大わらじを運ぶ人たちに、  
しのぶさんさんあかつき 信夫三山 暁 まいりについて話を聞きました。

かつ こいけ **日本一の大わらじを担ぐ会の小池さんの話**

わらじを運ぶ時は、みんなの気持ちを一つ  
にします。長さ<sup>こきゅう</sup>と重さがあるぶん、呼吸を  
合わせるのがむずかしいです。



大きなわらじをみんなで力を合わせて、山の上まで運ぶのがこの奉納のみりよくの一つです。この重みは、長くつづいてきた伝統の重みとも言えます。「伝統をつなごう」、「次の世代に引きつごう」を合い言葉に、45年以上<sup>じょう</sup>上続けています。続けることの大切さやむずかしさを感じています。



② 山の上まで大わらじを運ぶ様子



「大わらじは、とても重くて約12メートルもの長さがあるから、まがり角や山道を運ぶのはたいへんだと思うよ。」



「大わらじを運ぶのには、約100人のかつぎ手が必要になると聞いたよ。」



「たくさんの方が力を合わせ、気持ちを一つにして運ぶのだから、ゴールの羽黒神社に着いたときにはみんなで感動すると思うな。」



「市のホームページでは、大わらじを担ぐ人を募集する案内が出ていたよ。ほかの地いきからも担ぐ人が参加するのかな。」



③ かつぎ手を募集する案内



④ 信夫三山 暁まいりのポスター

さくらさんたちは、信夫三山暁まいりの伝統を守るために、どのような取り組みをしているのか、さらに調べることにしました。



① ふくおとこふくおんなきょうそう  
福男福女競走



② 福島わらじまつりの大わらじ

(画像提供 福島わらじまつり実行委員会)

## 調べる

しのぶさんざんあかつき  
信夫三山 暁 まいりの  
でんとう  
伝統を守るために、どの  
ような取り組みをしている  
のでしょうか。

### ふくおとこふくおんなきょうそう 福男福女競走

福島市の信夫山  
のふもとから羽黒  
神社まで約 1.3 km をか  
けあがります。

信夫三山暁まいりに  
合わせて開催され、県  
内外から多くの人たち  
が参加します。

## しのぶさんざんあかつき はってん 信夫三山 暁 まいりを発展させるために

さくらさんたちは調べていくうちに、信夫三山暁  
まいりをもり上げるために、さまざまな取り組みが  
行われていることに気づきました。



「信夫三山暁まいりに合わせて、<sup>ふくおとこふくおんなきょう</sup>福男福女競  
走というものも行われているみたいだよ。」



「8月に行われている福島わらじまつりでも、  
大わらじが登場するみたいだよ。」



「大わらじは一つではなく、二つあるのかな。  
さまざまな工夫をして、信夫三山暁まいりの  
でんとう  
伝統を守る取り組みをしているんだね。」

さくらさんたちは、福島わらじまつりでも、大わら  
じが出てくることを知り、福島わらじまつり実行委員  
会の方に話を聞くことにしました。



③ 福島わらじまつり  
のポスター



④ 福島わらじまつりでおどる子どもたち



⑤ わらじ音頭をおどる様子

(画像提供 福島わらじまつり実行委員会)

## おがわ 福島わらじまつり実行委員会の小河さんの話

1970 (昭和45) 年に、初めて福島わらじまつりが行われました。毎年8月はじめに行われ、大わらじをかついで国道13号信夫通りをパレードします。信夫三山暁まいるの大わらじと合わせて、一足分になるのですよ。



二つはちがう祭りですが、どちらもさまざまな年れいの方や多くの地いきの人たちが参加したり、見に来たりしてくれる福島を代表する祭りです。

東日本大震災後は、震災からの復興をいのる「東北絆まつり」にも参加しています。たくさんの人たちに祭りを知ってもらい、世の中を元気にもりあげていくために、動画配信をしたり、イベントを企画したりしています。みんなで力を合わせて、二つの祭りを未来の福島に残していきましょう。




⑥ 福島わらじまつりで登場する大わらじ

(画像提供 福島わらじまつり実行委員会)

## とうほくきずな 東北絆まつり

東日本大震災でぎせいとなられた方の鎮魂と、被災からの復興を願う「東北六魂祭」の後継イベントとして2017年に始まった祭りのこと。東北の県都6市の6祭りが結集し、さらなる復興を目指して、6市持ち回りで開催されています。

くらべること	きゅうふくしまけんじんじょう 旧 福島県尋常 中学校	
いつから始まったのか	1884(明治14)年開校	
はじまりやこれまでに起きた主なできごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島市に開校した「福島中学校」が安積郡桑野村に移転。のちに「福島県立安積高等学校」となる。</li> <li>・ 旧本館の建物が、国の重要文化財に指定された。</li> </ul>	
だれが、どのように受けついできたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の卒業生や地いき住民だけでなく、観光客も大切にしてきた。</li> <li>・ 国や県の支えんもあった。</li> </ul>	
人々の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからも地いきの人々と協力して、きちょうな文化財を守っていきたい。</li> <li>・ 演劇の表現の場としても残していきたい。</li> </ul>	

## まとめる

福島県内で古くから受けつがれてきたものについて、調べたことを表に整理して、くらべてみましょう。

### 学習問題

県内に残る古いものは、どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！





## 古くから受けつがれてきたもの

はなさんたちは、福島県内の文化財や芸のう、祭りについて調べたことをクラスで伝え合うことにしました。

「旧福島県尋常中学校は、学校の卒業生や地いき住民、観光客、県などの協力によって守られてきたみたいだよ。」


「じゃんがら念仏踊りは、その年に亡くなった人をとむらい、家族をなぐさめるために踊られるそうだよ。地いきに住む小学生も踊りの練習をしていたよ。」


「信夫三山 暁 まいりは、地いきの発展とともに変化して、東北地方を代表する祭りの一つになったみたいだよ。」


<p>ねんぶつおど じゃんがら念仏踊り</p>		<p>しのぶさんざんあかつき 信夫三山 暁 まいり</p>	
<p>360年以上前(江戸時代)</p>		<p>400年以上前(江戸時代)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県で生まれた念仏踊りに、いわきの民ようを取り入れて変化した。</li> <li>・いわき市の無形民俗文化財に指定された。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽黒神社に安置されていた仁王様の足の大きさにあった大わらじをつくって奉納したことが由来。</li> <li>・1970(昭和45)年に「福島わらじまつり」が始まる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にある90以上の団体で、地区ごとに家々を回って行われている。</li> <li>・子どもじゃんがらで、踊りを教えている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・御山敬神会や地いきの人たちが中心となって、毎年大わらじをつくっている。</li> <li>・東北を代表する祭りとして全国にP Rしている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その年に亡くなった人をとむらい、家族をなぐさめたい。</li> <li>・長いれきしと伝統を受けついでいるというほこりをもって取り組んでいきたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆたかな実りと地いきの人々の健康を願って、これからずっと続けていきたい。</li> <li>・もっと多くの人に祭りを知ってほしい。</li> </ul>	


① はなさんたちがクラスでまとめた表

はなさんたちは、グループごとに調べたこと  
 共通点やちがいを一つの表に整理してから、学習  
 問題について話し合うことにしました。

 「古くから残る建物も、芸のうも、祭りも長い間、人々に大切にされてきたんだね。」

 「古くから残るものには、地いきに住む人々の幸せやほこり、家族への愛といった思いや願いがこめられているんだね。」

 「たくさんの人に文化財や芸のう、祭りを知ってもらおうと努力したり、子どもたちに受けつぐための工夫をしたりしているね。」

 「古いものを受けつぎ、守っていくために、わたしたちにもできることがあるかな。」

**【表に整理する】**

共通点やちがいを一つの表に整理して、学習問題について話し合ってみよう。

- ① くらべるこうもくを表に書く。
- ② 調べたことについて、それぞれくらべるこうもくごとに表に書き入れる。
- ③ 表をくらべてみて、調べたことの共通点やちがいを読み取る。
- ④ 読み取ったことをもとに、学習問題について話し合う。





① 子どもわらじパレードの様子



② 子どもわらじの準備しゅんびをする小学生

## 広げる

地いきに古くから残るものを受けついでいくために、自分たちにできることを考えてみましょう。

### 【学び方コーナー】

#### インタビューをしよう

くわしい人から次のことを聞いて、自分たちにできることを考えよう。

- ・ 課題かだいになっていること
- ・ やりがい
- ・ 新しい人に伝える工夫くふう

## 身近な地いきを見直そう

さくらさんたちは、地いきに古くから残るものを受けついでいくために、自分たちに何ができるかを考えることにしました。



「県内の古くから残るものは、どれも多くの人たちが関わって受けつがれていたよね。」



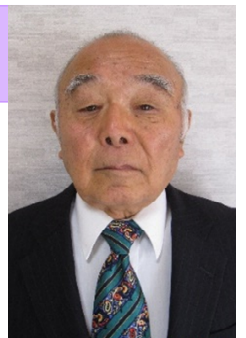
「福島市の小学校では、昔から子どもわらじとして取り組まれてきたそうだよ。伝統を地いきでつないでいくことがとても大切だね。」

## 地いきで保存ほぞんに取り組む赤間あかまさんの話

しのぶさんあかつき 信夫三山 暁 まいりのれきしを次の世代に残そうと思い、本をまとめました。

地いきの伝統を残そうとみんなで話し合い、現在の形になっていますが、運営する人たちの高齢化が進んでいます。

わかいい人たちにも、信夫三山暁まいりのみりよくを知ってもらい、たくさんの人に参加してもらいたいです。



③ 赤間さんがまとめた本



④ 安積歴史博物館の小中学生向けイベント



⑤ 子どもじゃんがらの発表の様子

さくらさんたちは、地いきに古くから残るものを受けつぐ取り組みに、より多くの子どもたちが参加するためにはどうしたらよいか、話し合いました。



「信夫三山暁まいりに参加したことがある友だちは、とても楽しかったと言っていたよ。大きくなったら、わたしも大わらじをかついでみたいな。」



「古くから残る<sup>たてももの</sup>建物で行われるイベントや地いきの<sup>げい</sup>伝統芸のうに参加してみて感じたことや、やりがいなどをまわりの人に伝えてくことが大切だよね。」



「福島わらじまつりの公式チャンネルでは、わらじの<sup>はいしん</sup>あみ方が動画で配信されていたよ。小さなわらじをつくってみて、大わらじをつくるたいへんさを<sup>そう</sup>想像<sup>そう</sup>してみるのはいかがでしょうか。」



「パンフレットをつくって古くから残るもののよさを学校みんなにしようかいたり、ポスターをつくって地いきでせんでんしたりするのはどうかな。」



福島県公式チャンネル じゃんがらねんぶつおど念仏踊り(現小名<sup>おな</sup>はまかいせいこうこう<sup>はまかいせいこうこう</sup>浜海星高校)



【公式】福島わらじまつりチャンネル